

中山間地域等総合対策検討会（第7回）の議事要旨

1 日 時： 平成14年1月22日 14：00～15：30

2 場 所： 農林水産省第一特別会議室

3 議事の概要

（1）資料説明

平成13年度中山間地域等直接支払制度の取組状況（見込み）について

1月18日に公表した「平成13年度の中山間地域等直接支払制度の取組状況（見込み）」について説明。

中山間地域等直接支払交付金の交付状況の中間点検について

中山間地域等直接支払交付金の交付状況の中間点検の実施に当たっての考え方、実施方法等について説明。

（2）委員の意見の概要

について

- ・ 平成12年度に始まった本制度が、2年度目の平成13年度において、協定数、交付金交付見込み面積とも概ね2割程度の増加をみたことは、かなり評価して良いのではないかと意見があった。
- ・ 本制度についてはいろいろ意見もあるだろうが、全般的には、地域に喜んで受け入れられているのではないかと意見があった。

について

- ・ 中間点検に当たっては、本制度を活用した地域の取組を、市町村がどのように支援しているかという観点からの状況の把握が必要であるとの意見があった。
- ・ また、地域内外の連携、関係機関との連携など様々な形態による連携を重要な視点として点検してはどうかとの意見があった。
- ・ 本制度の事業期間（平成12年度から5年間）も踏まえながら、様々な検討材料を把握しておくという視点が必要であるとの意見があった。
- ・ 本制度の意義についての理解を深めてもらうため、様々な方法によるPRを充実させる必要があるとの意見があった。